

平成28年 3月31日

## 平成27年度 鶴見総合高等学校 不祥事ゼロプログラム 検証結果

平成27年の不祥事ゼロプログラム実施状況に基づいて、次のとおり検証を行った。

### (1) 目標及び行動計画について

#### 公務外非行の防止

教職員の綱紀の保持、特に性犯罪について事故防止会議で啓発資料を配付し、非行防止のために職員の意識啓発を図った。また、新聞記事を職員室の中央黒板に掲示するとともに、管理職から意識啓発を行い事故防止に努め事故の発生を防ぐことができた。

#### 成績処理

成績処理におけるミス・不祥事の実態、その防止方法について事故防止会議で啓発資料を配付し、職員の意識啓発を図るとともに誤廃棄防止のための手立てを講じた。また、教科一斉点検、系列教科一斉点検、学務点検を行い成績処理についてのミスを防ぐことができた。

#### 調査書の発行

調査書発行マニュアルに基づき、複数の職員で慎重に点検・確認を行った。その結果、ミスなく調査書を発行することができた。

#### 体罰、不適切指導

事故防止会議で啓発資料を配付し、体罰はいかなる理由があろうとも許されないという意識の徹底を図った。

#### セクハラ、わいせつ行為の防止

総合教育センターより講師を招き、セクハラ防止等の講習会を実施した。常に自らの言動が、他者からセクハラと受け取られないよう注意するように意識啓発を図った。

#### 不適正経理処理の防止

経理処理の啓発資料を配付し、徴収・執行のルールの確認を行い、適正な処理の徹底を図った。また、会計担当者に私費会計基準を配付するとともに、講習会を開催し私費会計基準に沿った会計処理を徹底した。校内サーバ上に支費会計基準電子データをアップさせ、職員が全文ダウンロードまたは閲覧できるように整備した。

#### 個人情報保護・情報管理

総合教育センターより講師を招き、個人情報の紛失及び滅失に係る講習会を実施した。ヒヤリハット事例により事例研究を行ない、1つの事故にはいくつかのヒヤリハットが存在することを意識付け、事故防止を徹底した。

#### 不祥事等の周知・防止啓発

不祥事に関する新聞記事等を職員室に掲示するとともに、管理職から意識啓発を行ない、不祥事防止を図った。

### (2) 平成28年度に向けて

法令遵守意識の向上及び個人情報等の管理・情報セキュリティー対策、会計事務等の適正執行を重点取組事項と位置づけ、事故不祥事の記者発表記事や新聞記事を職員室内に掲示し意識啓発をタイムリーに行なう。また月1回開催される職員会議の冒頭に事故防止会議を開催し、啓発資料を配付し職員の事故防止に対する意識を高め、かつ継続させる取組みを行う。